

4. 学会動向

フォーラム・研修会等参加報告

フォーラム・研修会名

平成 19 年度

FD(ファカルティ・デベロップメント)のための情報技術講習会

報告者名：法科大学院 伊藤 博文

<開催概要>

開催日：2007年8月29日(水)～8月31日(金)

場所：園田学園女子大学（兵庫県尼崎市）

開催趣旨：

社団法人私立大学情報教育協会(JUCE)主催のFD講習会である。開催趣旨は以下である。教員が授業で直面する問題点として、学習意欲を高める工夫や授業設計のためのシナリオ作りが難しいという声が多く寄せられていることから、大学として組織的に授業改革が促進されるよう、教員の授業運営力の向上を目指した講習として「ファカルティデベロップメントのための情報技術講習会」を実施する。

<講習内容>

この講習会では、ICTを効果的に授業に活用できるよう、授業のシナリオ作りからプログラムをスタートし、その後、シナリオを実現するための情報技術として、コンテンツの作成方法とLMS(学習管理システム)の活用方法に焦点を当て、2コース別に実習を行なわれた。私の参加したのは、「LMS活用コース」で日程は以下である。

(1日目) コンテンツ作成コース, LMS活用コース共通

・解説「授業改善のための課題」

山本 喜一氏（慶應義塾大学理工学部情報工学科教授）

教員が授業で直面する課題や問題について、その背景にある学生の問題、教員の問題を掘り下げ、現状認識を行うとともに、ファカルティデベロップメントの課題を指摘された。またICTを活用した授業改善の可能性と限界について述べられた。

・解説「授業改善のためのシナリオ設計の重要性」

岸田 賢次氏（名古屋学院大学商学部教授）

シラバスで掲げた授業目標を達成することは、学生の基礎学力、現場感覚の不足、予習・復習の不徹底等の問題があり、通り一遍の授業では難しい。授業の展開や学習のポイントを考慮した上で、目的に応じた効果的な ICT を活用することにより、これらの問題を解消することは可能である。授業のシナリオを意識した授業展開を行っている事例をもとに、どうすれば効果的な授業を運営することができるか、そのポイントについて解説された。

・解説「授業シナリオの作成方法」／ワークショップ「シナリオ作成実習」

家本修氏（大阪経済大学経営情報学部・同大学院経営情報研究科教授）

授業シナリオの簡便かつ合理的な作成方法、学生のニーズ分析、授業の動機付け、授業評価など、実際のシナリオ作りの手順等について具体的な事例を挙げながら解説された。その後、参加した教員の実際の授業に即したシナリオを作成し、翌日以降の技術講習につなげた。

(2 日目以降) コース別実習

1 日目に作成したシナリオに基づいて、それを実現するための技術講習と有効活用するための助言を受けた。使用する技術により、2 コースに分かれて実習を行なった。その他、ICT を活用した授業改善を行っている具体的な事例紹介を受けた。

LMS 活用コース(項目のみ表示)

- ・学習支援システムとしての LMS
- ・LMS とは（意義，構造，機能）
- ・LMS の機能と活用方法（小テスト，アンケート，課題提出，シラバス管理，コミュニケーション，学習指導管理，成績管理）
- ・さまざまな LMS(フリー，商用)の紹介

オープンソース LMS Moodle の操作実習

サンプル教材を利用して、短い e-ラーニング教材を作成した。

- ・Moodle 上でのコースの作成

- ・コースへの教材，小テスト，課題の登録
 - ・フォーラムの作成
 - ・受講者の登録
 - ・作成した e-ラーニング学習の体験
-

(3 日目)

授業シナリオに基づいた LMS 活用の実践 (3 日目)

・各自作成した授業シナリオに基づいてコンテンツを作成し Moodle に登録した。実習は以上で終わり。

講習会最後の解説

- ・授業における Blog, 携帯電話等の活用事例の紹介
- ・著作権と個人情報保護等の留意点

<講習を受講して>

8 月末の 3 日間連続の講義で疲労感は大きいですが，さまざまな情報を得ることができ有意義であった。

この講習会に期待していたものは，LMS としての Moodle についての高度な操作技術の習得であったが，残念ながらそれは得ることができなかった。LMS の効用について，複数の講師から話を聞くことができたが，その講師陣それぞれがさまざまな角度から話をされるのを聞いて，LMS に対してもどこの大学も試行錯誤状態であることが良く理解できた。また，講習会で知り合った他大学の教員との交流により，他大学での LMS の利用状況も多少なりとも知り得たことが有益であった。

ここで学んだことをこれからの本学での教育に生かしていけるように活用したい。

以上